



NEWS LETTER R7年度 第3号 (R8.2.2)

「学び続ける教員へのメッセージ」シンポジウム開催のお知らせ

2026年3月14日(土)14時から、教職キャリア高度化センター主催「学び続ける教員へのメッセージ」シンポジウムを開催します。昨年度に引き続き、「これからの教育(令和の日本型学校教育)と教師に求められる資質・能力」という全体テーマのもと、本年度は「これからの学校教育に求められる探究学習とは」について、考えを深める機会を提供します。

シンポジストに泰山裕先生(中京大学教授)、長砂健先生(京丹後市教育委員会指導主事)、川上由希子先生(京丹後市立久美浜小学校教諭)、および小栗優貴先生(本学社会科学科講師)を迎え、大久保紀一朗先生(本学教職キャリア高度化センター講師)のコーディネートののもと、そもそも探究とは何か、これからの学校教育に求められる探究学習について、学術的な視点や学校現場の視点など、多角的に理解を深める機会になればと考えています。

対面とオンラインのハイブリッドで開催します。
多数の皆様のご参加をお待ちしております。
詳細については、本学ホームページやチラシにて
お知らせしております。

先生方のご参加をお待ちしています！
ぜひ大学生のみなさんにも
勧めてください！

※申込は右の二次元バーコードまたは下記URLからどうぞ
<https://forms.gle/wWY6SX5ZXV8HBW3T9>



「学び続ける教員へのメッセージ」講演会を開催しました

今年度も「学び続ける教員へのメッセージ」として、講演会を2025年11月24日(月・祝)に対面形式で行い99名の参加がありました。テーマを『これからの教育(令和の日本型学校教育)と教師に求められる資質・能力ーウェルビーイングとはどのようなものか、これからの学校教育のどこに関連するものかー』とし、講師に溝上慎一先生(学校法人桐蔭学園理事長・桐蔭横浜大学教授)を迎え開催しました。

溝上先生には、ウェルビーイングの定義や歴史、学校教育の中での正しい使い方について講演いただき、次期学習指導要領に関連付けて考えを深める場となりました。



参加者からは「『ウェルビーイング』という言葉はどう捉えたらよいか、イメージが膨らんだ」「曖昧な概念という印象の強かったウェルビーイングについて学術的な整理もあり、学校教育や運営との具体的なイメージと絡めてお話いただき大変勉強になった」等の声が寄せられ、大変好評を得ました。

映画「みんなの学校」を見て、深く考えました！

教育創生リージョナルセンター機構（総合教育臨床センター「学びサポート室」・教職キャリア高度化センター）は2025年11月26日(水)に、映画「みんなの学校」上映会&アフタートークを開催し、学生や教職員、京都府内の教育関係者など102名が参加しました。

「みんなの学校」は公立小学校を舞台にした、自主上映会でしか見ることができないドキュメンタリー映画です。この上映会は、いま求められている多様性・公平性・包摂性がどのようなものか、考えを深める機会にできたらという思いで開催されました。

参加者は、作品を主体的に捉え、自身の感じたことや考えたことを言語化し、それらの感想は全体で共有されました。さらに多様な立場からの解釈として、機構教員がアフタートークを行いました。

参加者からは「仕組みとして特別なことが取り入れられているわけではないのに、『人』でこれほど変わるのかと思った」「賛否両論あるということに納得しました」「京都教育大学の学生・先生方だけではなく、他大学の学生や現職の先生方の感想が共有されたことが、私自身学生の立場で様々な視点を得られる学びとなりました」などと感想が寄せられました。

また、次に取り上げてほしい映画として「小学校～それは小さな社会～」、同和問題を扱った作品などの希望が寄せられました。次回への期待が膨らむ上映会となりました。



スポーツ指導者養成事業

2025年度の体育・スポーツ指導力養成プログラムは、まず前期授業科目である『スポーツクラブ指導入門』からスタートしました。3専攻から11人の学生が集まり、少ない人数を感じさせない熱量があり、運動指導に関する基礎事項や子どもたちとの関わり方を学んだ後に、体操・バスケットボール・サッカーの運動教室で小学生に対する運動指導の実習を行いました。

指導実習では、運動に苦手意識を持つ子どもたちもいる中で、どのように関わることができるのかを考え、そして子どもたちができるようになった瞬間に立ち会いました。

また、昨年度に同授業を終え、今年度のインターンシップに参加している学生は、複数教室で指導に関わりました。これらの経験を教育実習等の次のステージで活かしてくれることを期待しています。



京都府総合教育センター連携講座（特別支援）



2025年9月26日(金)に、キャンパスプラザ京都にて「京都教育大学サテライト講座～愛着と発達特性に応じた児童生徒の理解と支援～」が行われました。この講座は、京都府総合教育センターとの連携講座です。本学総合教育臨床センター学びサポート室講師の榊原久直先生に講演いただきました。前半は愛着関係という視点から、後半は発達障害の特性という視点から、子どもを理解しどのような支援を行っていくのかについて、示唆に富んだ内容でした。

当日は京都府の教員を中心に161名の参加がありました。参加者からは「とても分かりやすかった」「子どもたちの抱える困難さを理解することができた」「学んだことを勤務校でも広めたい」「日々の教育活動に活かしたい」などの感想があり、大変好評でした。



特別支援教育スキルアッププログラム 報告

教職キャリア高度化センターでは、京都府・市教育委員会と連携して、主に京都府内の現職教員を対象に特別支援教育に関する講座を実施しています。なかでも、総合教育臨床センター学びサポート室との共催で「特別支援教育スキルアッププログラム」を年に3回ほど実施しています。

2025年10月4日（土）には、「教育と医療連携のポイント」をテーマに、本学総合教育臨床センター学びサポート室教授の小谷裕実先生を講師として迎え、第2回講座を開催しました。

講座では、支援や配慮が必要な子どもたちへの教育と医療の連携のあり方、保護者との協働のポイントについての講義を行いました。医療的ケアや発達障害などの架空事例を用いたグループディスカッションも行われました。

当日は39名の受講があり、「具体的でわかりやすく、日々の業務に結びつきやすい内容だった」「様々な立場の人や違う校種の教員と意見交流ができてよかった」といった感想が寄せられました。



2025年12月13日（土）には、「知的・発達障害のある子どもたちへの性教育」をテーマに、本学総合教育臨床センター学びサポート室講師の門下祐子先生を講師として迎え、第3回講座を開催しました。

講座では、まず「性とは何か」「なぜ性教育が必要なのか」を考え、各現場の課題や具体的な実践内容についてグループディスカッションを通して学びを深めました。

当日は40名の受講があり、「包括的性教育や人権感覚の捉え方など、わかりやすく伝えてくださり、あっという間の2時間だった」「リスクマネジメント中心の教え込む性教育ではなく、本当の意味での多様性を理解することが大事だと学んだ」などの感想が寄せられました。



学校経営に関する講座 報告

本学主催の学校経営講座を、8月は北部研修所、12月は本学にて開催しました。

2025年8月19日（火）は竺沙知章先生（本学連合教職実践研究科教授）が「学校経営と教育法規」をテーマに、児童・生徒への懲戒、学校事故、いじめについて概説するとともに、グループワークを行いました。

12月24日（水）は風岡治先生（愛知教育大学教授）が「カリキュラム・マネジメントと学校財務のための実践演習」を講義のうえ、事前課題をもとにグループワークを行いました。

12月25日（木）は中川勘太先生（多聞法律事務所弁護士）に「リーガルマインドのための実践演習」で講師を務めていただき、事前課題の解説に加え、判例を交えて多くの実践例を学ぶことができました。

アンケートでは「学校財務について洞察する有益な機会となりました。事務職員の受講が多いことも教育職にとってはありがたいです」「学校として判断すべき内容と、法律判断を仰ぐ場面について、具体的事例も含めて整理することが出来ました」などの感想があり、好評を博しました。



所属教員

機構長	原田 信一	専任教員	大久保 紀一郎	兼任教員	小山 宏之
センター長	榊原 禎宏		西山 由美		相澤 雅文
センター次長	市田 克利		吉川 孝		
	樋口 とみ子		山下 和美		
			民岡 薫		
			米澤 武史		

連絡先

ボランティアオフィス（月～水・金 10:30～13:30、木 10:30～14:30）

TEL:075-644-8336

スポーツ指導者養成オフィス（月～金 10:00～13:00、14:00～15:00）

TEL:075-644-8143

事務担当（学術研究支援課研究支援グループ）

TEL:075-644-8846/8793

教職キャリア高度化センターHP

先生を究めるWeb講義 YouTube

イベント情報など詳しくはこちらから♪ チャンネル登録よろしくお願いします♪

